

島根県大田市内で確認された外来種キマダラカメムシの記録

皆木 宏 明*

Note Introduced species *Erthesina fullo* (Thunberg,1783) of Ooda City on Shimane pref.

Kohmei Minagi

1. はじめに

キマダラカメムシ *Erthesina fullo* は、中国、台湾、東南アジアなどに分布し、日本では1770年代に長崎県の出島で最初に発見され、1783年に記載された南方系の外来種である(安永ら, 1993)。体長20-23mmと大型のカメムシで、体は褐色で細かな黄色の斑紋が散らばる。成虫の活動時期4月~11月、冬季は成虫越冬する習性がある(安永ら, 1993)。食樹としてはサクラ類 *Prunus* spp. やカゴノキ *Litsea coreana*、ケヤキ *Zelkova serrata* など20種以上が確認され、主に公園や街路樹などで見られる広食性の昆虫である(安永ら, 1993)。

以前は九州の一部のみの分布であったが近年急速に分布を拡大北上させており、西日本から愛知県、東京都でも確認されている(矢崎, 2012a; 桜井, 2008)。中国地方でも2002年に山口県で最初に確認され、島根県では2009年に県東部の松江市玉造町で初確認され(野津ら, 2011)、2012年には県西部の益田市内でも確認されている(皆木, 未発表)。2014年にこれまで記録のなかった島根県大田市においても本種の生息を確認したので、調査した大田市内の分布状況と合わせて報告する。

2. 調査方法

調査は2014年9月から10月にかけて、大田市内のキマダラカメムシの分布状況及び大田市内への侵入経路を探るため、市外の隣接する出雲市でも同様に調査を行った(図1)。調査は、本種の寄主として記録が多く、市内にも多いソメイヨシノ *Prunus × yedoensis* の

植樹された地点を中心に計23地点を調査し、目視によりキマダラカメムシの有無と確認した個体数を数えて記録した。また確認した個体は成虫と幼虫を区別し記録した。

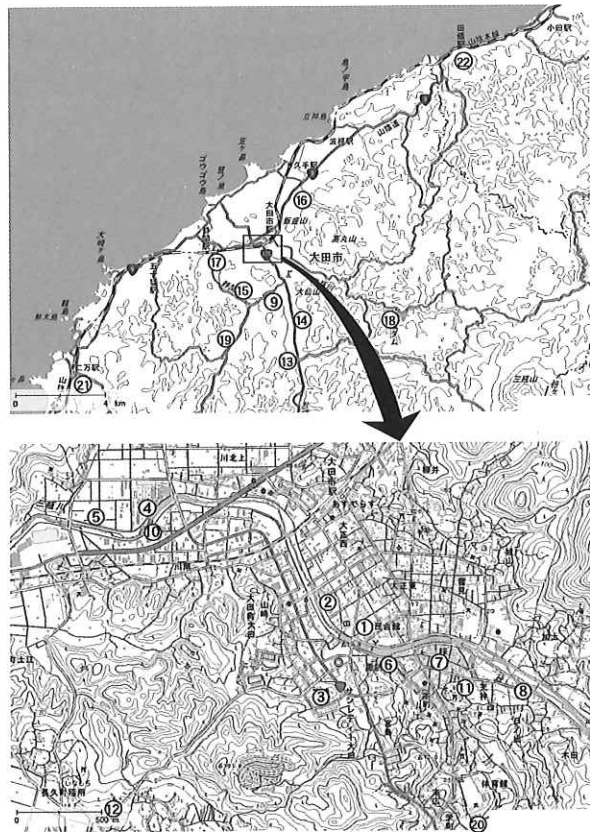


図1 調査地点

3. 結 果

大田市内とその周辺の計23地点で調査した結果、11地点で、本種の生息を確認した(表1)。また、分

* 島根県立三瓶自然館, 〒694-0003 島根県大田市三瓶町多根 1121-8

The Shimane Nature Museum of Mt. Sanbe (Sahimel), 1121-8 Tane, Sanbe-cho, Ohda, Shimane, 694-0003, Japan

布の中心は大田市の市街地部に偏り、周辺部ではほとんど生息が確認できなかった。特に個体密度が高かった地点は市街地中心に位置する大田市民会館（鳥根県大田市大田町）の敷地内で、次いで大田市民会館に隣接する三瓶川沿い（三瓶川右岸a）の街路樹の個体密度が高かった。三瓶川沿いを中心に分布を確認できたが、生息地の中心から周辺にいくほど個体数は少なく、また三瓶川から離れるほど確認できなくなっていた。また、8地点では幼虫も確認され、既に本種が大田市内でも繁殖していることも確認された(図2)。

4. 考 察

大田市内のキマダラカメムシはどこから来たのだろうか。外来種昆虫の県内での分布拡大については、門脇（2006）による5年間のブタクサハムシ *Ophraella communa* の分布調査において詳細に調べられている。それによると、おそらく山陽地方から侵入し2001年に県内で初確認されたブタクサハムシは、そ

の後急速に分布を広げ、4年で県内全域に広がったことがわかっている。その拡大状況は、2001年に県東部（安来市1ヶ所）と西部（浜田市～津和野町までの4ヶ所）の両方で確認され、その後東西から幹線道路に沿って広がり、2004年には県中部で合流したという。

キマダラカメムシもブタクサハムシと同様に、最初に県東部（松江市玉造町）と西部（益田市）で確認されている。しかし、今回のキマダラカメムシの調査では大田市街地内で個体数が多く、周辺に離れるほど確認されなくなる傾向があった。このことから大田市に侵入したキマダラカメムシは、県東部もしくは西部から徐々に移動してきたのではない可能性がある。

本種の分布拡大は個体の飛翔による移動のほか、キマダラカメムシではその分布状況から寄主となっている樹種の植栽等による人為的な移動の可能性も指摘されている（矢崎，2012b）。大田市での本種の分布状況からも、市内への本種の侵入は人為的に移入した可能性が高く、おそらく数年前に大田市街地に侵入し、分布を周辺部に広げていると推測される。

表1 キマダラカメムシの調査結果

No.	調査地点	場所	調査日	確認数	成虫/幼虫	調査木数	1本あたりの平均個体数
1	大田市民会館	大田市大田町大田	2014.9.9	76	21/55	18	4.22
2	三瓶川右岸a	大田市大田町大田	2014.9.2	72	22/50	39	1.85
3	鳴滝公園	大田市大田町大田	2014.9.14	8	0/8	7	1.14
4	三瓶川左岸a	大田市長久町長久	2014.9.14	12	4/8	26	0.46
5	三瓶川左岸b	大田市長久町長久	2014.9.14	11	4/7	24	0.46
6	鶴ヶ丘つつじ公園	大田市大田町宮崎	2014.9.14	4	0/4	10	0.4
7	大田准看護婦学校駐車場	大田市大田町雪見	2014.9.14	2	0/2	6	0.33
8	三瓶川左岸c	大田市大田町日の出	2014.9.22	3	3/0	9	0.33
9	静間川左岸a	大田市久利町行恒	2014.9.16	5	2/3	22	0.23
10	三瓶川右岸b	大田市長久町長久	2014.9.14	1	1/0	20	0.05
11	大田天満宮・柿本神社	大田市大田町天神	2014.9.14	0	0/0	11	0
12	浄土寺	大田市大田町稲用	2014.9.14	0	0/0	6	0
13	静間川左岸b	大田市川合町吉永出岡	2014.9.16	0	0/0	21	0
14	新具蘇姫神社	大田市川合町吉永	2014.9.16	0	0/0	0	0
15	静間川左岸c	大田市長久町延里	2014.9.16	0	0/0	18	0
16	刺鹿神社	大田市久手町刺鹿	2014.9.18	0	0/0	22	0
17	静間	大田市静間町静間	2014.9.18	0	0/0	18	0
18	三瓶ダム展望台	大田市大田町野城	2014.9.22	0	0/0	10	0
19	銀山川右岸	大田市久利町久利	2014.9.29	0	0/0	25	0
20	大田市営球場	大田市大田町大田	2014.9.30	0	0/0	40	0
21	仁摩健康公園	大田市仁摩町天河内	2014.9.2	0	0/0	27	0
22	風の子楽習館	出雲市多伎町口田儀	2014.9.9	0	0/0	15	0
23	浜遊自然館観察広場	出雲市大社町中荒木	2014.10.12	6	6/0	10	0.6

引用文献

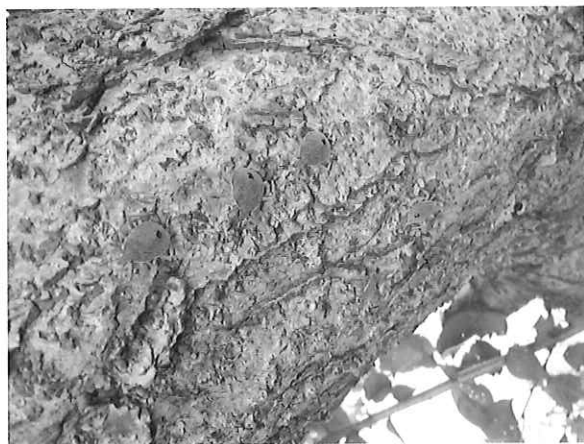
- 門脇久志 (2006) 島根県および鳥取県西部のブクサハムシ (5) 2001年～2005年の調査結果のまとめ. ホシザキグリーン財団 研究報告 (9), 265-294, 2006-03
- 野津幸夫・前川尚嗣・増本育子 (2011) 南方系キマダラカメムシ 島根県に産す. 中国昆虫, (25): 71.
- 桜井毅一 (2008) 東京都でキマダラカメムシを採取. 月刊むし 29-30
- 安永智秀ほか (1993) 日本原色カメムシ図鑑. 全国農村教育協会, 東京. 380pp.
- 矢崎充彦 (2012a) 愛知県に侵入したキマダラカメムシ. 月刊むし (491): 412-42
- 矢崎充彦 (2012b) キマダラカメムシ. 移入種対策ハンドブック- ブルーデータブックあいち2012. P.99



① キマダラカメムシ (成虫)



② キマダラカメムシ (幼虫)



③ 複数のキマダラカメムシ (幼虫)

図2 大田市で確認したキマダラカメムシ (①, ②, ③)